

企業紹介

環境に配慮し、高品質・短納期・低コストを
追及して、お客さまへ最高の満足を届ける



代表取締役 藤田 茂子
〒959-1333 加茂市八幡2丁目3番51号
TEL 0256-52-2141 FAX 0256-53-0730
http://www.fu-ji-ta.co.jp/

業 種：金属板金・プレス製品製造
資 本 金：1,000万円
事業内容：金属部品の加工および表面処理・組立
金型および治工具の設計製造

主にオートバイや自動車関連部品を製造する(株)藤田製作所は、今年で創業55周年を迎える。金型の設計・製造から精密板金加工、塗装、シルク印刷、組立まで一貫生産体制を構築する。従業員の多能工化にも積極的に取り組んでおり、多品種少量生産・短納期・低コストの実現によりお客さまへの対応力を高めている。

金属板金加工から表面処理まで一貫生産

同社は、昭和33年に創業。主力のオートバイや自動車関連部品のほか、OA機器、照明器具、水処理装置関連部品など幅広い分野の部品を取り扱う。同社の強みは、金型設計・製造、プレス・板金加工から表面処理までを一貫生産体制で対応できること。創業以来の主要取引先である大手メーカーからの依頼の多くは、車載計器関連部品や電子機器関連部品など、高い加工技術や品質保証が要求されるものばかり。同社はそんな高レベルの要求に確実に応え続けることで、お客さまから高い評価を得ている。また、農業ハウス用霜防止ヒーターは、発売から35年以上のロングセラー商品で、今でも根強い人気を集めている。



▲事業内容について語る藤田社長

従業員の多能工化が強み

同社は、2年前から、高品質を維持しながら効率化を進めるため、生産方式の改革に着手。従来の加工工程を分担する生産方式から一人の従業員が複数の生産工程をこなす「多能工化への移行」を積極的に進めている。従業員が、二役、三役を担うことでいっそうの多品種少量生産・短納期・低コストを実現。お客さまからの急な要望にも迅速に対応することが可能となっている。「多能工化への取組により人材育成、技術の向上・伝承、社内のチームワークと情報の共有が図られた」と藤田社長は語る。



▲110tプレス用ロボットライン



▲丸絞り・角絞りプレス加工製品

さらなる事業拡大を目指して

創業以来、お客さまとの関係を大切に守り続ける同社であるが、新規受注先開拓に向けた取り組みも着実に進めている。昨年、神奈川県内の大手企業に対する展示商談会に参加し、複合加工（金型+ベンダー）による金型費削減を提案。さらには、日本最大級の異業種交流展示会等にも積極的に参加。新潟の部品製造プロ集団の一企業として、確かな技術力と品質管理体制をしっかりとPR。さらなる事業拡大を目指している。



▲品質及び環境に関する国際規格の認証を取得している